

こころに寄り添い合う人づくり委員会

【第4次地域福祉活動計画でめざすこと】

- ① 私たちが暮らす地域の多様な人々に対して、地域ぐるみで共生意識の理解を深める。
- ② 福祉のこころを育むために教育関係者や団体が連携し、共生意識を高め、考える場や機会をつくる。
- ③ 多様な人々の思いや願いを共有できる場や機会をつくる。
- ④ 孤立しない子育て支援について地域ぐるみで考える場や、機会をつくる。
- ⑤ 研修や啓発活動の機会にICTを活用し情報発信を進める。

第4次能美市地域福祉活動計画

こころに寄り添い合う人づくり委員会



- いきいきサロン運営ボランティア
- 市民生委員児童委員協議会
- 市身体障害者福祉協議会
- 市自立支援協議会（施設）
- 市自立支援協議会（相談支援専門員）
- 市ボランティア・コミュニティ活動支援センター運営委員会
- 市福祉課
- 学校関係（教職OB）
- 市ボランティア連絡協議会
- 市手をつなぐ育成会
- 市社会教育委員会議
- 市子育て支援課

12名の委員で構成されています。

1年間で進めてきたこと

1) 地域において多様性や障がいについて理解・啓発をすすめる「共に生きる」意識づくりに取り組んだ。

- 障がいのある人やそのご家族から“思い”をお聴きする会を実施
ご協力：市身体障害者福祉協議会、

市手をつなぐ育成会、
三道山子ども食堂



- 春まちぽかぽかプロジェクトでの人づくり講座

2) ユニバーサルスポーツを通して、多様な人が交流する場をつくった。

- 放課後児童クラブと放課後等デイサービスの交流
- ふれあい福祉交流会
- 能美市ジュニアボランティアクラブ
- みんなの街フェスでの交流

2/22(土) 春まちぽかぽかプロジェクト プログラム2 【ここに寄り添い合う人づくり講座】

“聴いて・話して・つながって！”

- 1) 障がいのある当事者やそのご家族からお聴きした「思い」を発信！
- 2) 当事者が「思い」をご自身の声で発信！

～ 多様な人々の声に耳を傾けて～



- 3) 私たち一人ひとりができるところに寄り添った関り方について参加された皆さんと考えてみた！



<できること>

- ・ 関心を持つこと
- ・ 声掛け ・ 参加する ・ 広げる
- ・ 手助け ・ 寄り添う ・ 場づくり

見守り・助け合い推進委員会

【第4次地域福祉活動計画でめざすこと】

- ① 私たちが暮らす地域をよくするために、地域を基盤とする「地域福祉委員会」活動の充実を進める。
- ② 各町の取り組みや、助け合い活動グループの事例を学び、情報共有を進める。
- ③ ICTを活用した情報共有や、地域活動の情報発信を進める。
- ④ 福祉施設・企業・商店との連携を進める。
- ⑤ 地域における助け合いの担い手や理解者の拡充を進める。



第4次能美市地域福祉活動計画 見守り・助け合い推進委員会



委員会の様子

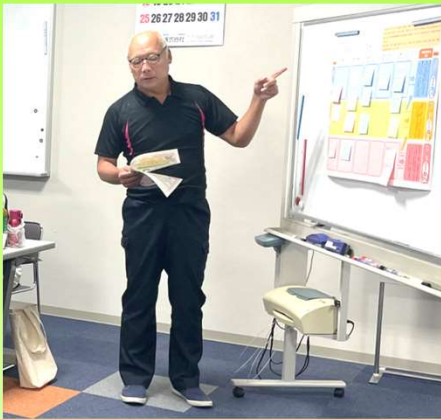
- 市町会連合会
- 市民生委員児童委員協議会
- いきいきサロン運営ボランティア
- 市老人クラブ連合会
- 地域福祉委員会活動推進員
- 市いきいき共生課
- 市自治公民館協議会
- 福祉推進員
- 市壮年団
- 郵便局
- あんしん相談センター

13名の委員で構成されています。



1年間で進めてきたこと

委員会の方針である「**自助互助による、見守り助け合いのしくみづくり**」についてどのような取り組みが必要なのか、委員会にて各種団体より意見を聞き、今年度は、地域の見守りや助け合い活動を広げるしくみづくりの手段の一つとして、「**地域の見守りを進めるためのポイントリスト**」の内容について検討を重ねた。



委員会にてポイントリストの内容についてグループに分かれ検討している様子

第4次能美市地域福祉活動計画 見守り・助け合い推進委員会報告会 春まち ぽかぽか プロジェクト プログラム⑨

テーマ：『つなげよう 声かけ合って 地域の輪』
～自分ができる見守り助け合い活動って何だろう～

地域での見守りをすすめるための大切な視点について『ポイントリスト』をもとに参加者と共有し、地域福祉委員会等での活用をすすめた。
また、福島町、寺井町横町の地域(地区)福祉委員会の見守り・助け合いの活動の取り組みについて報告し、活動事例をヒントに「自分ができる地域の見守り助け合い活動」について考える機会へとつなげた。



福島町地域福祉委員会、寺井町横町地区福祉委員会より、見守り活動における取組み事例報告



自分ができる見守り・助け合い活動について意見交換を行い共有した

くらし応援委員会

【第4次地域福祉活動計画でめざすこと】

- ① 私たちが暮らす地域に相談ができる場や機会をつくろう。
- ② 多様な主体が、それぞれの強みを活かした助け合い活動につなげる。
話し合いの場をつくり、ネットワークづくりをすすめよう。
- ③ 情報発信や情報入手についてICTを活用し、環境を整えよう。
- ④ 地域における助け合い活動の意識啓発をすすめよう。
- ⑤ 誰もが地域で活躍する場が広がるようすすめよう。

第4次能美市地域福祉活動計画
くらし応援委員会



- 市民生委員児童委員協議会
- 市女性協議会
- 市ボランティア連絡協議会
- 能美市国際交流協会
- のみ商業協同組合
- 市いきいき共生課
- 福祉推進員
- 市母子寡婦福祉連合会
- 市地域自立支援協議会
- 市介護を考える会
- 市子育て支援課

13名の委員で構成されています。

1年間で進めてきたこと

- 委員会にて、地域の現状を確認し合い、地域で暮らす誰もがつながり助け合うしくみづくりに向けて話し合いを進めた。
- 昨年度からの声を具体的に見える化した「居場所いい場所つながりマップ」を作成した。
- フードドライブ、フードパントリーを年4回ずつ行なった。
- 新たな居場所として、フードパントリー時の「ほっと一息❤️カフェコーナー」を開催し、ほっと一息、コーヒーなどを飲むだけの場所から人とのふれ合い、つながり、生活相談しやすい居場所になった。
- それぞれが役割が、あることで生きがい持ち、地域で暮らしていけるそんな居場所をみつけられる。
- 地域に新たな居場所を作っていくことや、つなげていくことを今後も考えていく。

3/1(土) 暮らし応援委員会 “居場所いい場所!!” つながりのしくみづくり

フードライブ

ほっと一息
♥カフェ
コーナー



新しい居場所



♥居場所いい場所つながりマップ

なぜ、居場所が必要なのでしょうか?

結果市内に様々な理由で孤立する方がいることがわかりました。現代の「つながり」が重要な社会になっています。孤独や孤立を防ぐために、地域を生きる者同士が「つながり」を築くことが必要です。居場所を多くの方に知ってもらったり地域に居場所を持っていくことができます。このマップは多様な居場所がわかりやすくなるように、地域民の意見を集めて作りました。

寺井地区	根上地区	坂口地区
11 寺井地区 寺井地区 福祉センター 10:00-14:00 12月15日(土) 10:00-14:00 12月22日(土) 10:00-14:00 12月29日(土) 10:00-14:00	12 根上地区 根上地区 福祉センター 10:00-14:00 12月15日(土) 10:00-14:00 12月22日(土) 10:00-14:00 12月29日(土) 10:00-14:00	13 坂口地区 坂口地区 福祉センター 10:00-14:00 12月15日(土) 10:00-14:00 12月22日(土) 10:00-14:00 12月29日(土) 10:00-14:00

作成 株式会社 暮らし応援委員会
発行 令和7年3月1日



市内にあるいろいろな「居場所いい場所!!」
を見える化しマップ作成

いろいろな居場所を知ってみんなで つながり、
居場所づくりをするために情報・意見交換をした